

石坂典子(41)



## 需要増 工夫で生かす

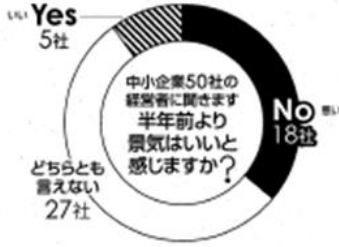
**Yes** おもに在宅の建て替えのリフォームで出る産業廃棄物を受け入れて、処理しています。いつもから直営の処理量は昨年の3月がピーク、4月で落ちます。こころは5月も雇入が継続です。昨年4月に予定される消費税増徴引上げの影響かもしれません。建て替えなどを考えている方が、「建設費」に動いているのでしょう。産業廃棄物の量は、これから大いにあります。人口減で建て替えの家を解体しなくてはなりません。また、2016年の東京五輪、パラリンピックをひかえた安全確保のための道路の修繕など、するべきことがたくさんあるからです。輸出入をする大企業と違い、うちのようないわゆる個人事業の中小企業は、

政治の行方を過度に気にせず、工夫で乗りこえなくてはなりません。「環境を汚す会社は出て行け」と意識運動があったこともあります。でも、300坪に社長になり、従業員者のイメージを変えようと、リサイクル技術を習得して処理工場を公開しました。ミツ(子)を例に、嵐山を新しいめま交遊施設をつくって、ミニバスも走らせました。多くの方にきていただいています。従業員約4割は女性で、社内に保育施設をつくる検討も始めました。仕事も、地域おこしも、人材確保も、政治に期待して待つのではなく、できることから取り組んでいく。そこに中小企業の強さがあると思います。

(本社・埼玉県三芳町  
グループ従業員約150人)

日経平均株価が1万円台だった昨年7月のこの欄で、「景気がいい」と書いた中小企業は、50社のうち13社。増収増益が目立った大企業とは異なる厳しい現実がありました。では、半年前と比べて足もとの状況は？ 先月と同じ経営者50人からうかがいました。

## 景気はいいですか？



ご協力いただいた50社(業種別)【北海道】東栄建設、新発見炭化ガス【東北】高田自動車学校、八木建設、オクト、藍ホタル屋、シェルター、八雲産業、東都、ヴィ・クルー、ネクス【関東】中野スプリング製作所、日本プラスチック、日本建設工業、全幹事・全工務、プレコール、日本建設工業、コーポレートアソシエイツ、資材、松田産業、アイシーピー、藤久美、セリエコーポレーション、アトム建設、エイアンドピー、エナコ、アフロディ、エスエヌ、エー・エービルドテック、ユウマイベント、サンパワ、ジー・ブーン【中部】緑社、ネオリバブリック、ネオワゴウ【近畿】ロマン、三和建設、中野心、新日本テック、遠和建設工業、カブキタ、新築材料、三協製作所、成田建設、日本グリーンパックス【中国、九州】エブリイ、ヒューマンライフ、お輝でつくるやさしい家業、プレースホーム、サンマ



石本一彦(49)

## うるおい届かぬ町工場

**No** 景気が良かったのは2008年に起きたリーマン・ショック以前、でしょうか。もっとも、そのとき景気が良かったと実感していたかも知れませんが、それほど景気回復が続いています。いまの仕事量は、ショック前の8割。何とかなりますが、ぎりぎりの経営で、今春もバテを見送りました。ものづくりの現場全体に広がると、仕事の手量は減っていると思います。産業の空洞化は相変わらず。少ない仕事を取り合うから、忙し町工場も賑わ町工場もある。二極化が進んでいると思います。安倍政権の経済政策「アベノミクス」に、少しは期待しています。期待はずれだった、とまでは言いません。でも、円安や株高で大企業や

富裕層はうるおったでしょうが、中小零細までには恩恵が行き渡って、みんなしあわせになりましたか？ 安倍政権は、大もろけした大企業には積極的に国内投資をさせた、交際の政策をしてほしい。継続的になんていいますが、労働者の3割しか働いていない大企業ばかりがらうおっている現状に、納得できないです。ものづくりの現場がなくなると、この国はどうなりますか。ホワイトカラー的な人たちがITなどで活躍するのはいいことだと思いますが、日本はそんな方たちがばかりではありません。ITを支えるさまざまな職種は、だれがつくっていくのでしょうか。

(本社・大阪府東大阪市  
従業員23人)

**No** 景気は停滞、悪化の方向に進んでいる。地域の小売業の売り上げは前年割れ、販売も前年を大きく下回る。大きな決断がいつどこで起こるか想像できないことも心配。昨年4月の消費税率10%への引き上げは、やめるべきだ。(50代・サービス業)

**No** 給与が上がっているが、それ以上に物価が上がっている。安倍政権の政策では、大企業と中小企業、都市と地方、富裕層と貧困層に格差が広がった。その実態も踏まえて消費税率の増徴はやめて、負担能力に応じた税制をつくるべきだ。(50代・サービス業)

**No** 昨年末あたりから受注が戻っている。それまでは、検査対応するほどの仕事量だったのに、世界経済が低調なのだから、輸出頼みではない市場拡大が必要だ。多岐化したインフラ整備など、多くの人が納得する公共事業に取り組んでほしい。(40代・製造業)

**No** 大企業の技術力がいちじるしく低下し、値段の安い中小企業への「丸投げ現象」が増えている。良いものをつくっていても、安定受注につながらない。損益分岐点に到達するまでの持ち上げ難視が、難しくなっている。(50代・製造業)

◆編集委員(中小企業担当)の中島浩が担当しました。次刊(第14回)の「われら中小企業」は、社員の負担をテーマに、6月30日に掲載する予定です。

**Yes** エネサリオン様のおかげで、全館の中小サロンの技術を教えている。製菓したシャンプーなども提供していて、注文は増えている。ただ、いまでも買い物を控えている方は多い。消費税率10%への引き上げは、懸念すべきだ。(30代・サービス業)

**Yes** 保護された額とふれあって、販路になってもらう働き方をしているが、苦ブームといわれるいま、メディアの取材などが増えた。日本経済を盛り上げるには、政府には、中小企業の根本的な経営改善につながる政策にも取り組んでほしい。(40代・サービス業)

困り上げは伴っているが、第2次安倍政権の発足前からなので、景気のおおかげではないと思う。消費税率の10%への引き上げを前にしてなのか、お客さまは価格シビア。政府は、中小ベンチャーと地方を軸に成長戦略を実践してほしい。(60代・サービス業)

景気は芳華儀のように悪化、悪化していると思う。昨年の9月ごろから、さまざまな仕事に直撃されているが、たままだらう。アベノミクスでは中小企業の仕事は増えないことを念頭に、地方自治体とともに中小のための施策を考えてい。(50代・製造業)

「われら中小企業」で聞きたい質問を募集します。asahi\_forum@asahi.com、〒104-0011(所在地不詳)朝日新聞オピニオン編集部「われら中小企業」係へ。

2016年5月16日付  
朝日新聞「われら中小企業」  
のアンケートで、ジー・ブーンが  
回答しました。